

伊那市環境報告書

(令和6年度環境調査実績)

伊那市市民生活部生活環境課

1 自然環境の保全

(1) 自然保護

ア 自然公園

自然公園法及び長野県立自然公園条例に基づき、地域内で一定の行為を行う場合、環境大臣または県知事からの許可等が必要となります。許可等の申請があった場合、市に対して国・県から意見照会があります。

区域	照会件数	主な行為
南アルプス国立公園	8件	工作物の新築、工作物の改築、植物の採取
中央アルプス国立公園	5件	工作物の改築、植物の採取
三峰川水系県立公園	6件	工作物の新築、工作物の改築、土石の採取

イ 外来植物駆除事業

アレチウリ駆除（市内一斉駆除日を設定し市内全域で実施）
 ビロードモウズイカ駆除（高遠町地域で実施）
 ブッドレア駆除（長谷地域の黒川と三峰川合流点付近で実施）
 ヒメジョオン、ブッドレア等駆除（南アルプス林道沿い）
 オオキンケイギク駆除（天竜川等の河川敷）

ウ 新山「トンボの楽園」保護・整備活動

環境省が行う、自然環境保全基礎調査の指標昆虫の一つであるハッチョウトンボを始め、多くのトンボが生息するトンボの楽園の保護や整備を地元管理団体(新山トンボの楽園を育てる会)と協働して実施しました。

内容
・環境整備（草刈等）の実施

(2) 環境美化

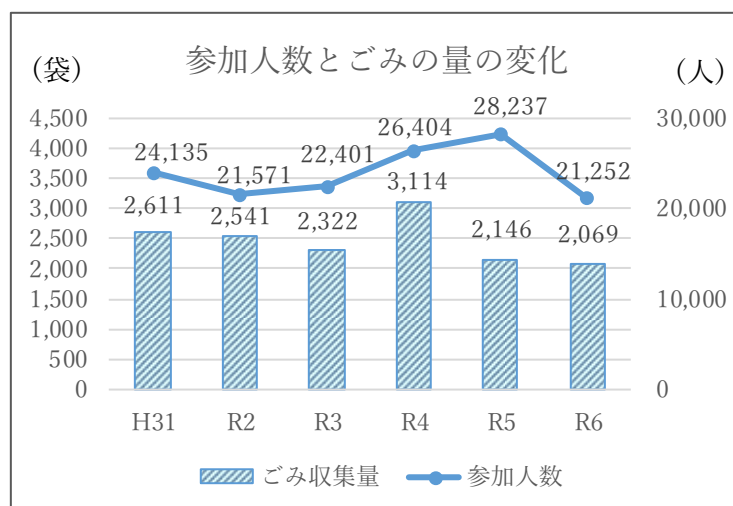
環境美化活動及び空き缶等回収

○環境美化活動 10月27日、3月9日

○空き缶等回収 6月15日

【実績】

参加人数	21,252人
ゴミ収集量	2,069袋
可燃ごみ	1,489袋
不燃ごみ	491袋
その他ごみ	89袋



2 生活環境の保全

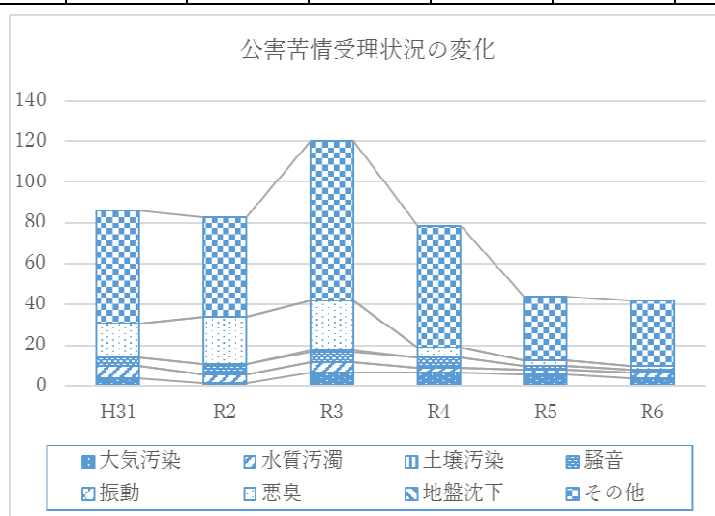
(1) 公害苦情受理状況

公害苦情の受付件数は、その他が伸びており、土地や空家の周辺環境に対する苦情がほとんどを占めています。

実際に健康や財産等に被害を受けたものはなく、感覚的・心理的な公害苦情が多い状況です。

ア 件数

大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	その他	年計
4	3	0	1	0	2	0	32	42



○種別内訳

種別	内容	処理対応
大気汚染	廃棄物の野焼き、不適正な焼却炉の使用など	現地確認、野外焼却場による指導
水質汚濁	車両交通事故による水路へのオイル流出、事業所排水の河川流入	現地確認、必要に応じて吸着剤の散布
騒音	住宅密集地での演奏、鶏の鳴き声	対策を講ずるよう指導
悪臭	事業所や農地からの悪臭、アパートのトイレからの臭い	対策を講ずるよう指導
その他	ペットの不適正飼育、土地管理者不在や空家による周辺環境の悪化など	文書による指導、訪問による指導

イ 用途地域別

都市計画用途地域								都市計画 区域外	合計
住居	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	計		
4	0	0	1	0	0	3	8	34	42

ウ 種類別

健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
3	1	14	24	2	42

エ 野外焼却苦情受付月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

(2) 自動車交通騒音調査

騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、伊那市内の自動車騒音の状況を常時監視するため、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 12 年 5 月 15 日付け環大二第 51 号、環大企第 101 号 環境庁大気保全局長通知 以下、「評価マニュアル」という。)及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 23 年 9 月 14 日付け環水大自発 110914001 号環境省水・大気環境局長通知)に基づき、伊那市内の主要幹線道路における様々な道路条件、沿道条件等を踏まえ、道路交通騒音の環境基準達成状況を戸別建物ごとの的確に評価することを目的として自動車騒音測定を行っています。

ア 騒音測定

(平均値・単位 dB)

測定路線・地区	戸数	環境基準		測定結果		基準適否	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
中央自動車道西宮線	21	70	65	56	55	適	適
一般国道 153 号	347	70	65	64	59	適	適

(3) 河川水質検査

水質検査指定河川である天竜川、三峰川は天竜川上流河川事務所が水質検査を実施しているため、平成 27 年度から市の検査は実施していません。なお、天竜川上流河川事務所による水質検査の結果は次のとおりです。

河川	観測所	類型	項目	単位	R3	R4	R5	R6
天竜川	中央橋	B	BOD	mg/L	1.7	1.7	1.4	1.4
			大腸菌群数	MPN/100mL	5,800	-	-	-
			大腸菌数	CFU/100mL	-	89	143	145
三峰川	竜東橋	A	BOD	mg/L	1.0	1.0	0.8	0.7
			大腸菌群数	MPN/100mL	1,800	-	-	-
			大腸菌数	CFU/100mL	-	25	29	40

※「水質汚濁に係る環境基準について」の改正に伴い、令和 4 年 4 月より検査項目が「大腸菌群数」から「大腸菌数」へ変更

※類型の説明

類型	利用目的の適応性
A	水道２級、水産１級及びＢ以下の欄に掲げるもの
B	水道３級、水産２級及びＣ以下の欄に掲げるもの

(4) 伊那市光化学オキシダント緊急時対策実施要領の運用
注意報等の発令はありませんでした。

(5) 微小粒子状物質(PM2.5)注意喚起情報発表に伴う広報
注意喚起情報発表はありませんでした。

(6) 水質事故の対応
オイルなどの流出事故が１件ありました。

【状況】

- ・車両事故によるオイルの流出 １件

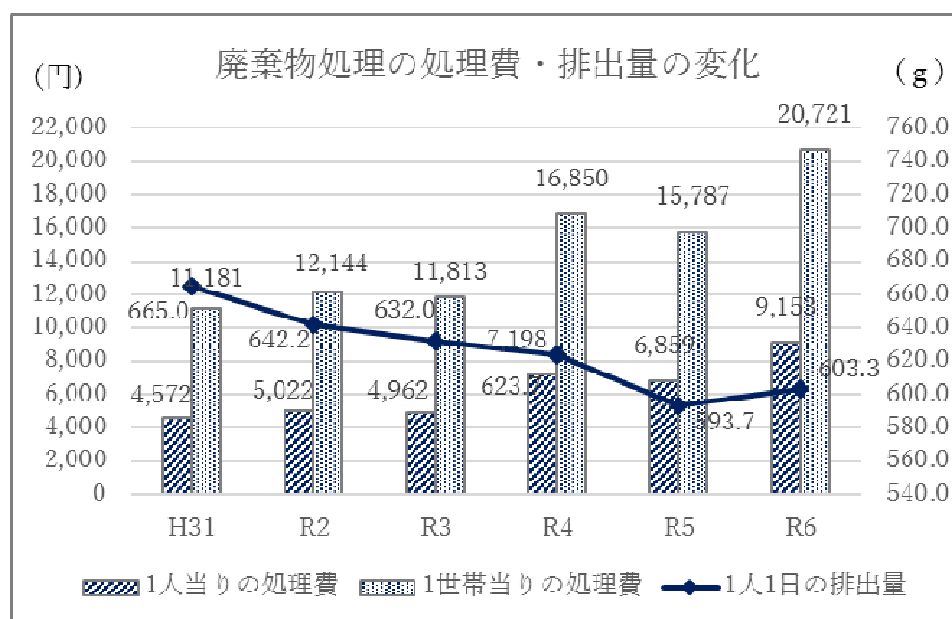
３ 廃棄物処理

(1) 処理費用

年度	人口 (10.1 現在)	世帯数	処理費	処理量	１人当り 処理費	１世帯当り 処理費	１人１日 排出量
R6	64,969人	28,699世帯	594,668千円	14,307t	9,153円	20,721円	603.3g
【参考】 R5	65,536人	28,473世帯	449,507千円	14,201t	6,859円	15,787円	593.7g

※上記の数字は、家庭系ごみと事業系ごみの合計数字（資源物含む。）です。

※家庭系ごみの１人１日あたりの排出量は、390.4 gです。



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口(人)	67,896	67,290	66,642	66,214	65,536	64,969
世帯数(世帯)	27,761	27,829	27,995	28,285	28,473	28,699
処理費(千円)	310,389	337,946	345,435	476,592	449,507	594,668
処理量(t)	16,480	15,774	15,197	15,073	14,201	14,307

(2) 一般廃棄物の処理量

ア 可燃ごみ・不燃ごみの処理量

(単位： t)

区分		家庭系		事業系	その他	計 (自家処理は除く)
種類		計画収集 (家庭系指定袋 【直接搬入含】)	直接搬入 (家庭系有料)	直接搬入 (許可業者)	不法投棄・災害等	
可燃ごみ	R6	7,899.93	625.99	3,305.99	21.66	11,853.57
	R5	7,949.57	514.53	3,262.64	11.34	11,738.08
不燃ごみ (含む粗大ごみ)	R6	372.35	330.75	21.18	2.47	732.22
	R5	388.73	306.69	3.50	2.53	701.45
内 鉄	R6	147.19				
	R5	144.04				
内 アルミ	R6	15.48				
	R5	14.55				
内 雑品	R6	4.19				
	R5	5.91				
計					R6	12,585.79
					R5	12,439.53

イ 資源ごみ等の処理量

【単位： t 】

種類	R6 年度	参考	
		R5 年度	R5からの伸び率(%)
不燃ごみ(資源分)	167.22	164.50	1.65%
(内) 鉄	147.19	144.04	2.19%
(内) アルミ	15.48	14.55	6.39%
(内) 雑品	4.19	5.91	-29.10%
資源プラスチック	564.60	587.20	-3.85%
古紙類	742.03	721.94	2.78%
びん類	254.44	260.48	-2.32%

スチール缶	22.92	26.58	-13.77%
アルミ缶	24.83	26.43	-6.05%
牛乳パック	2.9	3.09	-6.15%
ペットボトル	42.53	60.02	-29.14%
廃食用油	1.58	4.46	-64.57%
衣類	37.76	56.50	-33.17%
有害ごみ	24.92	25.37	-1.77%
その他	0	3.48	-100.00%
計	1,885.37	1,909.11	-1.24%

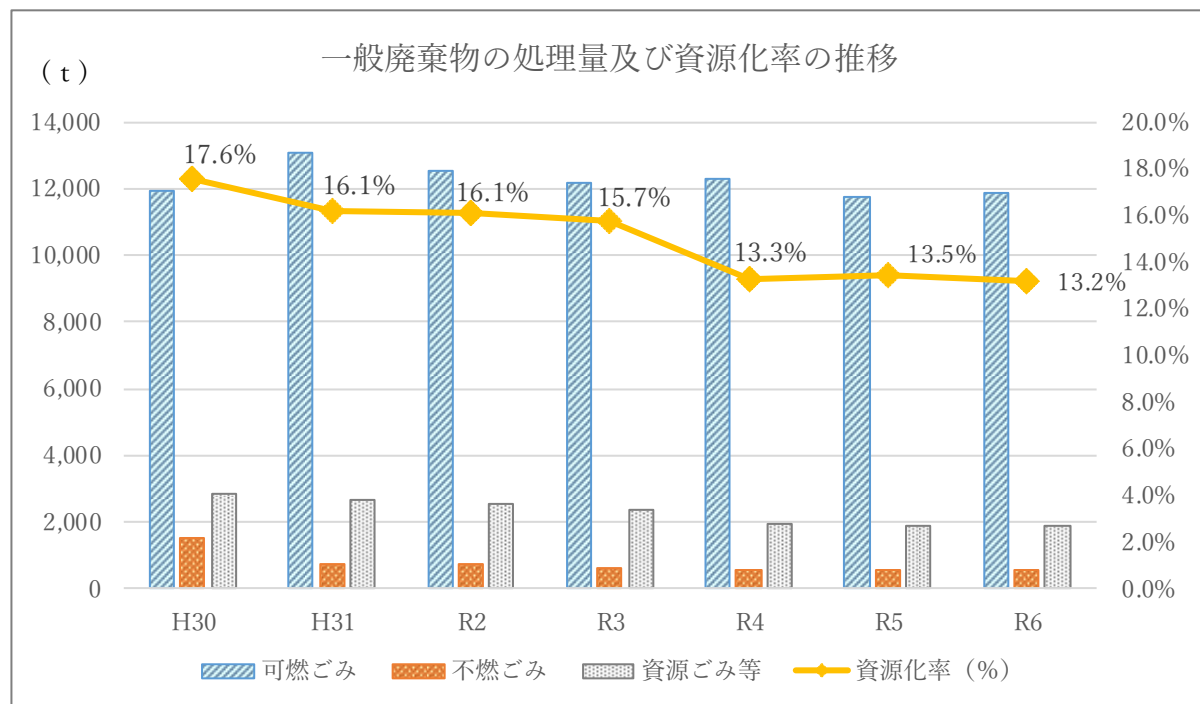
ウ 一般廃棄物の処理量(まとめ)

【単位：t】

	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ等	合計
R6 年度	11,853.57	565.55	1,885.18	14,304.30
R5 年度	11,738.08	536.95	1,937.51	14,212.54
R4 年度	12,263.65	589.60	2,219.33	15,072.58

エ 資源化率

$$\begin{aligned}
 & \text{資源ごみの処理量} / \text{可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ等の総処理量} \\
 &= 1,885.18 / 14,304.30 \\
 &= 13.17\%
 \end{aligned}$$



(3) 家庭から指定ごみ袋で排出されたごみの組成

(単位：%)

可燃物 測定：10月・2月の年2回		不燃物 測定：10月・2月の年2回	
資源化できるガラス	0.00	資源化できるガラス	7.20
資源化できる紙類	7.82	資源化できる紙類	0.00
資源化できるプラ	6.36	資源化できるプラ	2.66
資源化できる金属	0.31	資源化できる金属	1.00
厨芥類	36.83	布類	0.00
布類	10.22	ゴム・皮革・アルミ箔	0.22
ゴム・皮革・アルミ箔	1.7	木・竹等	0.00
木・竹等	1.14	その他の可燃	1.30
その他の可燃	31.37	不燃ごみ	6.18
不燃ごみ	0.09	小型家電	6.88
		プラと金属の複合	14.62
		金属・ガラス・陶磁器	11.50
		処理不適物	0.00

(4) 回収事業

ごみの減量化等を図るため、衣類、使用済乾電池、廃食用油の回収を行いました。

ア 衣類

開催時期・会場			
6月18日、10月6日にそれぞれ9会場にて開催			
回収結果			
総数		37,760kg	
実績	リユース	古着として	90.0%
		ウエスとして	5.0%
	再生繊維としてリサイクル		3.0%
	廃棄		2.0%

イ 使用済乾電池蛍光管の回収

開催時期・会場	回収結果
10月27日、3月9日 (河川一斉清掃に合わせて実施)	24,920 kg

ウ 廃食用油の回収

開催時期・会場	回収結果
2ヶ月に1回 (市内一部のステーション)	4.09 t

(5) 補助制度

ア ごみ収集ステーション設置補助事業補助金

件数	16 件	実績額	1,393 千円
----	------	-----	----------

イ 生ごみ処理容器等購入補助金

件数	81 件	実績額	1,363 千円
----	------	-----	----------

※機器内訳：電気式 62 台、容器式 19 台

4 地球温暖化防止

(1) 伊那市環境審議会

伊那市環境審議会は、伊那市環境保全条例に基づき設置された組織で、令和6年度は、審議会を3回開催し、伊那市環境基本計画の中間見直し及び進捗状況、伊那市環境報告書、製品プラスチックの回収等についてご審議いただきました。

(2) 伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会

サステナブル環境部会は、伊那市新産業技術推進協議会の一つの部会として設置された組織で、「伊那から減らそう CO2!!」、「2050 年カーボンニュートラル行動計画」の取り組み等について協議・検討しています。令和6年度は、これらの進捗状況と今後の取り組みについてご協議いただきました。

(3) 再生可能エネルギーの普及推進

ア 熱利用設備（累計）【二酸化炭素排出抑制計画（H28～R7）より】

設備	施設名	策定時	目標(R7)	R6進捗状況	
		設置数	設置数	設置数	達成率(%)
ペレットストーブ	民間	54	354	336	94.9
	公共施設(公民館、学校)	160	290	334	115.1
ペレットボイラー	温泉施設	1	5	2	40.0
	保育園	6	14	10	71.4
	学校調理場	3	12	10	83.3
	民間(みぶの里)	1	11	1	9.1
	農業用ハウス	3	23	12	52.1
	民間	0	50	0	0.0
薪ストーブ	民間	324	1,194	1,363	114.1
太陽熱	民間(補助件数)	103	343	312	90.9

イ 補助制度（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（環境省））

設備名	件数	実績額
屋根乗せ太陽光発電（住宅）	59 件	38,590,000 円
屋根乗せ 太陽光発電（事業所）	10 件	18,416,000 円
定置型蓄電池（住宅）	51 件	32,763,000 円
定置型蓄電池（事業所）	5 件	3,631,000 円
太陽熱利用システム	37 件	22,076,000 円
薪ストーブ	49 件	14,662,000 円
ペレットストーブ	16 件	6,665,000 円
木質バイオマスボイラー	7 件	19,610,000 円

(4) 経木の活用

地元産材の新たな活用や脱プラスチックへの取り組みとして、木を薄く削って作る「経木」を食材の包みや仕切り、敷物などへ活用するとともに、更なる活用の検討を行いました。

■市内事業者による生産量 80,000 枚/月

(5) 麦ストロー

脱プラスチックへの取り組みの一環として、プラスチック製ストローの代替品として、麦ストローの普及に取り組みました。農福連携の事業として作成した麦ストローを民間事業者の食堂等で活用いただき、普及・啓発を図りました。

■生産量 R3:4,000 本 R4:4,000 本 R5:1,766 本 R6:666 本

(6) ヘチマたわし

プラスチック製スポンジの代替品として、ヘチマたわしを農福連携事業として作成し、普及に取り組みました。ヘチマを栽培した保育園等で活用しています。

■生産量 R3~R4:160 個 R5:180 個

(7) エコバック普及事業

伊那市環境基本計画の重点プロジェクトとして掲げている「伊那から減らそう CO2!!」及び「すすめようプラごみの削減」への取り組みとして、令和 4 年度に民間企業から協賛いただき、エコバック 5,500 個を作成し、コンビニエンスストア利用者に配布し、普及・啓発を行いました。令和 5 年度は、イベント等で配布し、さらに普及・啓発に取り組みしました。

■協賛企業：15 社（22 口） 作成数：250 枚×22 口＝5,500 枚

5 環境問題啓発・環境学習

(1) 環境啓発(伊那市環境展の開催)

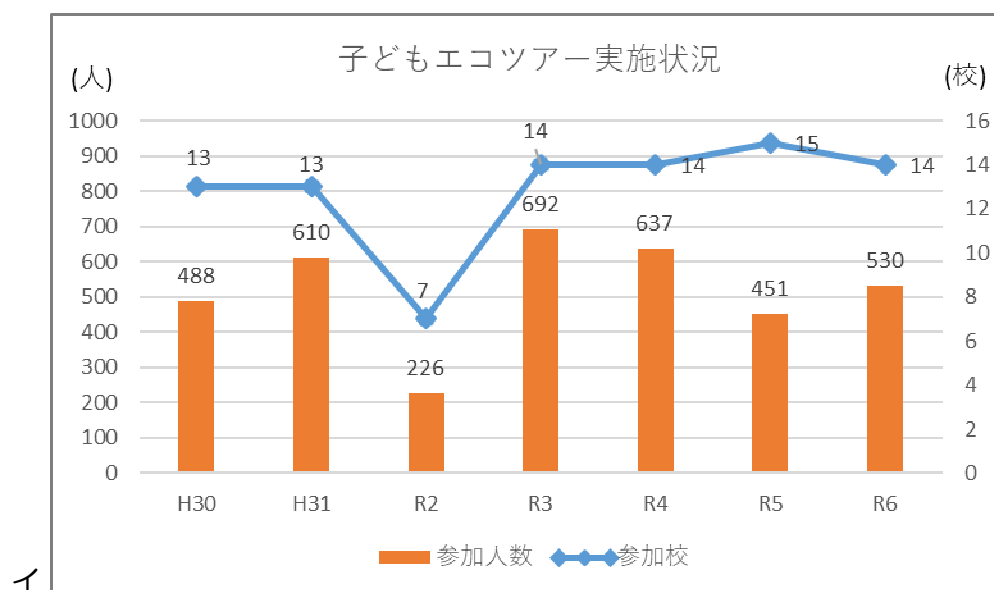
令和6年度は開催せず。

(2) 環境教育

ア 子どもエコツアーの実施

市内小学4年生の児童を対象に、環境への関心を高めることを目的として、ごみ処理施設等の見学や林業体験等を実施しました。

実施回数	21回	参加校	14校	参加人数	530人
------	-----	-----	-----	------	------



イ

小学校4年生を対象とした環境教育用副読本「地球にやさしい きれいな伊那市に」を作成し、4年生の児童に配布しました。各校において、環境教育の中で、活用していただきました。

ウ スターウォッチングの実施

星空の観察という身近な方法により、大気保全の重要性の認識や宇宙への関心を深めていただくことを目的として、プラネタリウム鑑賞と屋外での星空観察を行いました。

○開催日時及び会場

日時：令和6年11月7日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで

会場：長野県伊那文化会館（プラネタリウム）

春日城址公園（星空観察）

○参加者数 53名（18組）

伊那市環境報告書(令和6年度環境調査実績)

令和7年9月作成

伊那市
〒396-8617
長野県伊那市下新田3050 番地
市民生活部生活環境課ゼロカーボン環境政策係
TEL: 0265-78-4111 内線:2211
FAX: 0265-73-4151
E-mail: sei@inacity.jp
